

ものづくり、CSR経営、健全なグループ管理を通じ 豊かな社会の発展に貢献していきます。

リーマンショック以降、落ち込んでいた世界経済は、中国・インドなどの新興国の成長に牽引され、緩やかな回復が続きました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、グローバルでは依然として成長産業であり今後も拡大が期待されます。また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連でも、旺盛なパソコン需要からHDD（ハードディスク駆動装置）の生産も引き続き増加が予想されます。

以上のような経営環境のもとで、各事業のグローバル成長戦略を実現し、製品・サービスの競争力を強化することで、新たな発展に向けて再出発したいと考えます。また、持続可能な企業活動を行うため、CSR活動の積極的な推進を方針とし、コンプライアンスを根幹としたCSR経営を行います。グローバル企業としての社会的責任を遂行し、経営の透明性とチェック体制を高めることで、ステークホルダーの皆様から信頼を得るよう努めます。また、社会貢献活動・地球環境保全活動を積極的に推進するとともに、グループリスク管理体制を強化し運用してまいります。そして、これらの活動を通じて豊かな社会の発展に貢献していきたいと考えています。

この報告書を通じ、当社が果たすべき社会的責任について、私たちの考えと活動の一端をご理解いただければ幸いです。まだ不十分な内容ではありますが、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



日本発条株式会社
代表取締役会長

佐々木 謙二

代表取締役社長

玉村 和己

CSR推進委員長メッセージ

今後もCSR活動を積極的に推進します

近年、企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、企業が持続的に成長していくためには、自社のステークホルダー（お客様、株主、お取引先、従業員、行政・地域社会など）に企業活動を理解していただき、信頼関係を築きながら、その社会的責任を果たしていくことが重要と考えております。当社では、関係部門長で構成するCSR推進委員会でCSR活動を推進する方向性などを決定し、全社および各事業所で具体的な活動展開を図っています。当社は、コンプライアンス、リスク管理、品質保証、情報開示、労働・安全衛生、社会貢献、環境保全などの各分野で活動を行っていますが、それぞれの取り組み状況については、以下のページで報告します。

当社はこれからも、グループの総力を結集し、CSR活動の充実に向けて、さらに積極的に取り組んでまいります。



CSR推進委員長
代表取締役副社長
山口 努

私たちニッパツの従業員は、「社訓」の精神をもって、「企業理念」に則った事業活動を遂行します。

社 訓

躍進のニッパツ
根性のニッパツ
みんなのニッパツ

企 業 理 念

グローバルな視野に立ち
常に新しい考え方と行動で
企業の成長をめざすと共に
魅力ある企業集団の実現を通じて
豊かな社会の発展に貢献する

Contents



| | |
|------------|----|
| トップコミットメント | 2 |
| 事業概要 | 4 |
| ハイライト2009 | 6 |
| CSR マネジメント | 8 |
| 社会性報告 | 12 |
| 環境報告 | 20 |
| 環境マネジメント | 21 |
| 環境パフォーマンス | 28 |
| 環境データ | 33 |
| 財務報告 | 46 |
| 関連会社概要 | 73 |
| ニッパツ会社概要 | 75 |

編集方針

この報告書は、環境省発行「環境報告ガイドライン（2007年版）」を参考に作成しました。お客様、株主・投資家、サプライヤー、各事業所周辺の地域の方々、従業員とその家族などを対象としています。社会性、環境保全、財務の1年間の動きをまとめています。

報告対象範囲

この報告書は、原則として2009年4月から2010年3月のニッパツグループの事業活動を対象としています。また発行が9月のため、大きな動きについては2010年4月以降の活動も掲載しています。